

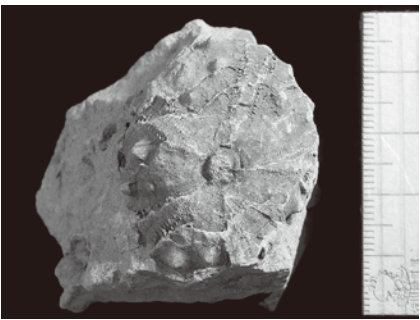


海とウニの今昔

近年、地球温暖化による海水温の上昇で、ウニが海藻を食べ尽くし海が砂漠化する「磯焼け」が深刻な問題となっています。高知県の「足摺海底館」では、ウニが鉄製の外壁に穴を開けて水漏れを引き起こすという驚きのトラブルが発生し話題となりました。また、主要産地では環境変化の影響で価格が高騰するなど、今、ウニの動向が注目されています。

ウニは私たちにとっても、食卓やニュースを通じてわりと身近な生き物です。ですが、彼らが生物学的にヒトデやウミユリの仲間であることはご存じでしょうか。実は高知県や佐川町からは、これらの生物の化石が多く発見されています。特に佐川の白亜紀のウニの化石は、その松ぼっくりのような独特な形をしたトゲで有名です。また、海を漂うエイリアンのような姿をしたウミシダ（ウミユリに近い仲間）の化石も発見されており、太古の海の不思議を感じさせます。

現代の海で騒動を巻き起こしたり、食卓を彩ったりしているウニたち。彼らの遠い祖先はどのような姿だったのでしょうか。今回の展示解説では、高知県のウニ、ヒトデ、ウミユリの貴重な化石をご紹介します。ぜひご期待ください。



仁淀川町白石川のウニ化石

9月の地質館イベント

9月27日（日）展示解説「太古の海のウニたち」11：30～&14：30～（20分程度）



佐川町立 桜座

佐川町甲 346 番地1 電話 0889-22-7878 休館日：月曜

♪第13回桜座2ビークンサート9月6日(日)開催！



桜座Lobby Concert

令和8年 9月6日（日） 開演12時30分・開演13時・観覧無料

佐川町立 桜座 2階ホワイエ

今日のゲスト サックスプレーヤー 竹本綾大さんの登場です。

桜座ウクレレ講座の受講生がロビコンに挑戦！

後半出演 (15:45～)

出演者(人数)	使用楽器
① The Sakura(1) アル・サックス	アル・サックス
② ゼン・ギタ(1) ゼン	ギター
③ フリート・ギター・ピアノ・二胡	ギター、ピアノ、二胡
④ 木の高橋(1) 木の高橋	木の高橋
⑤ ビン・ギター・ガバ	ギター、ガバ
⑥ ア・ランテ(1) ア・ランテ	ア・ランテ

～ 9月の桜座主な催し物～

日	開演時間	催し名	概要
13日（日）	13:30	高知赤十字病院医療公開講座 骨粗しょう症、乳癌健診などについて	事前申込要 お問合せ：088-822-1201
19日（土）	13:30	大林幸二 & 塩乃香織 土佐のむかし話 1,000 回記念コンサート	お問合せ：エディター 0889-20-0113

青山文庫だより

佐川領の範囲について

現在開催中の企画展「江戸時代の佐川」の開催期間が残りわずかとなりました。

この企画展は不定期に開催していた小展示を深めたもので、江戸時代の佐川についての概説となるよう構成しています。特に佐川領（深尾領）の範囲については、具体的に示すことに留意しました。

佐川領の範囲を示す資料は「山内一豊知行宛行状（写）」という資料（以下、宛行状）が根拠となります。この宛行状は、初代佐川領主・深尾重良が佐川領を与えられた際に領知の範囲を明確にするために作成されたものですので、領知に含まれる土地の名を細々と書き記されています。

この宛行状が作成されたのは慶長6（1601）年8月19日で、土佐二国を与えられ入国してきたばかりの山内氏が、要所に重臣たちを配置して国の安定を図ろうとしていたタイミングで作成されたものです。そのため、ここに書かれている土地名は新国主となった山内氏が検地や村切（各村の範囲を決めること）を行って確定したのではなく、旧体制（長宗我部氏時代）で機能していた中世（江戸時代より前の時代）の土地名であることに注意が必要です。

今回の企画展では、佐川領の全体を現在の地図に落として目でわかるような地図を作成したかったのですが、これら中世の土地名を現

在の地図に落とすことは大変困難で、今回は覧表の作成にとどまりましたが、領知について確認できたことがあり、また、この中で紹介しておきます。

まず、宛行状に記載されている土地名をよく見ると、同じ村の中にあっても所有者が異なる場合は細かく書き分けていることに気付きます。これは、旧領主（旧黒岩城主・片岡氏、旧松尾城主・中村氏、旧尾川城主・近沢氏）の飛び地（本領から離れた領知）にあたる土地に見られる現象で、「○○分△△村」などと土地名の頭に旧領主名を付けて他の土地と区別しています。

中世以前の佐川領周辺地域は、江戸時代の深尾氏のような大きな勢力によってまとめられた地域ではなく、小さな勢力が群雄割拠した地域でした。戦国時代末期には長宗我部氏の勢力下となり、佐川には周辺地域をまとめる駐屯部隊が置かれましたが、あまりにも早く江戸時代となったことや、関係資料が現存していないことが相まって、駐屯部隊を預かった久武氏の悲劇など、一部の事柄しか伝わっていません。そのため、宛行状に挙げられている旧領主名であっても、寺社に伝来している棟札と同じように、彼らが存在した証拠のひとつとなります。

次に、土地の単位についてですが、範囲を示す際に古くは「郷・庄・名」などの単位が用いられていました。一般的には、豊臣秀吉が実施した太閤検地により「郷・庄・名」などの中世以前の単位は「村」に統一されたと理解されています。土佐でも豊臣政権下の長宗我部氏が検地を実施しており、有名な「長宗

我部地検帳」が現存しています。佐川周辺地域でも当然長宗我部氏による検地は実施されており、その成果がこの宛行状に反映されているのです。

ここで注目したいのは宛行状に「名」が残っていることです。佐川周辺地域では、完全に村に統一されていなかったことがわかります。なお、佐川領成立後に作成された資料を併せて見ると、深尾氏が実施した村切によって「名」が消滅し、完全に「村」となったことが確認できます。

現時点で佐川の歴史がある程度わかるのは江戸時代以降となりますが、佐川領の成立により様々な制度が新設されたり、改められたことが佐川領の地名の変化からもうかがえます。

江戸時代の佐川について、このように概説を展示できる機会はそうありません。ぜひこの機会に見に来ていただければと思います。

（藤田有紀）

〈展示案内〉

○企画展「江戸時代の佐川」

○小展示「志士たちの遺墨」

○小展示「植物学者・牧野富太郎」

開催中 9月13日（日）

〈臨時休館〉
展示替え作業のため、令和8年9月15日（火）から18日（金）まで臨時休館します

広告

循環器内科・外科・整形外科

高血圧、不整脈などはもちろん、生活習慣病など幅広く診察します

田村カルディオクリニック（旧田村外科）いの町波川 R33 沿い



循環器専門医

☎088-893-5712 水曜午後外科休診 金曜午後循環器内科休診

田村親史郎 茅ヶ崎徳洲会病院 聖路加国際病院ハートセンター 高知大学医学部附属病院等で研鑽を積み実家医院に戻りました。病気を抱えながらも、安心して健やかな日々を過ごせるようお手伝い致します。